

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	人事課	事業No.	37
事務事業名		健康管理事業	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画				
	法令・例規等		労働安全衛生法		
事業目的	対象	職員			
	意図	職員の健康管理を適切に行って良質な市民サービスを提供する			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・全職員を対象とした健康診断(人間ドック、定期健康診断、生活習慣病予防健診、婦人科健診)を実施しました。 ・特定保健指導を実施しました。 ・メンタルヘルス対策として、管理職を対象にしたライン研修を開催しました。また、ストレスチェック実施後に、一般職員、高ストレス者等を対象にしたセルフケア研修を開催しました。 ・ハラスメント防止研修を市の指針で責務が規定されている管理職、一般職員に分けて研修を開催しました。また、ハラスメントの相談体制の確保に向けて、相談員を対象とした研修も開催しました。		健康診断(定期健康診断・人間ドック等)				19,457	
			ストレスチェック				1,251	
			メンタルヘルス対策				191	
			ハラスメント防止対策				188	
その他の経費				0				
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績
	健康診断受診数(正規職員)	人	1,537	1,528	1,546	1,554	1,563	1,538
	健康診断受診数(臨時職員)	人	838	897	898	912	894	916
	健康診断事後フォロー相談数	回		72		107		59
	ストレスチェック受検者数	人	2,375	2,092	2,334	2,130	2,401	2,069
	メンタルヘルス面談数(含ストレスチェック後)	回		200		164		158
1年度決算(千円)	予算額	23,917	特定財源内訳及び補正事項					
	決算額	21,087	(そ)長野県市町村職員共済組合助成金					
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	100					
一般財源	20,987							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 中 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	10	12	1	23,917	21,087	健康管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・ストレスチェックの実施率が下がり、今までと違った切り口で実施率を向上させる対策が必要です。 ・ハラスメント研修では、一部の職員だけでなく、全職員が職場からハラスメントを排除する認識を共有することが必要です。同時に、管理職以外でも部下を持つ係長・課長補佐がいるので、部下を持たない職員とは研修内容も機会も別に設定することが必要です。							
上記の課題解決のための有効策		・ストレスチェックを実行性のあるものにするために、組織として年1回職員のメンタルの状態を確認する必須診断との認識を持つ必要があります。実施前に各部署ごとの実施率を庁内で開示することを周知した上で実施します。 ・全職員がハラスメントを排除する認識を共有するために、課長補佐・係長を加えた3階層に分けた研修を開催します。							
次年度に向けての取り組み		・パワハラ防止法の改正に合わせて、職場からハラスメントを排除する必要性を受講者が実感できる研修内容になるよう講師と打ち合わせて実施します。 ・ストレスチェックの実施率向上に向けた具体的な対策を実施します。							